

平成 27 年 7 月 14 日 (火)

新人研修 (一次救命処置)

徳島文理大学研修室において新人看護師 12 名、インストラクター 3 名、教育委員 4 名で一次救命処置について研修をおこないました。院外での研修は今年で 2 回目であり、BLS、シナリオ患者への対応、気管内挿管の準備、介助、振り返りと有意義な研修になりました。他施設での研修ならではの「連携、協働、報告、連絡、相談」の経験ができたと思います。指導者たちも新人看護師とともに充実した熱い一日でした。

研修風景



インストラクターたちのやさしい視線





<新人看護師の報告書より>

- ✚ 今回の研修でCPR・気道確保・BVMによる換気・AEDの使用にいたるまでの過程においてそれぞれ根拠があり、その根拠を理解していることで順序通りに手技を実践できるのだと学びました。
- ✚ 実際に自分は急変する可能性の高い患者のいる環境であることを自覚し、「もし今日仕事中に患者が急変したらどう行動するか」を常に考えながら働いていきたい。
- ✚ 実際に自分がどう行動すべきか考えながら学ぶことができ、現場で生かせる実習だった。
- ✚ 先輩看護師にどのように動くか聞きながら自分にできることを考えながら看護につなげたい。
- ✚ 研修を通じて救急看護の難しさを痛感した。これから経験を積んでいく中で先輩看護師から多くの事を吸収していきたい。

など、多くの学びがあり、いい研修ができたようです。次回は看取りの看護・六ヶ月フォローアップ研修です！お疲れ様でした。